

津山ガスからのお知らせ

お住まいの家の給湯器が凍結しないよう予防方法又は凍結した時の対策方法をお知らせ致しますので、寒い日には参考にしてみてください。
もし、保温材が割れている、凍結防止ヒーターを入れてない方は是非ご連絡を。
お見積りは無料です。お気軽にご相談ください。



冷え込みによる

ガス給湯器の凍結予防方法

この時期、特に気温の下がる夜間や早朝時は、凍結による給湯器のトラブルが多発します。ガス給湯器の凍結予防等についてお知らせいたしますので、冬場の凍結対策としてお役立てください。



予防1

凍結予防ヒーター

- 1 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認します。



※凍結予防ヒーターや、循環ポンプが自動的に動作します。

予防2

蛇口から水を流す

- 1 給湯器の電源をオフにする。
- 2 ガス給湯器のガス元栓を閉める。
- 3 給湯栓を開き、少量の水を流した状態にしておく。

※流す水の量は、1分間に400cc程度を目安に。



予防3

給湯器本体の水抜きをする

- 1 給湯器の電源をオフにする。
- 2 ガス給湯器のガス元栓を閉める。
- 3 給水元栓を閉じる。
- 4 給湯栓を全て開く。
- 5 給水水抜き栓・給湯水抜き栓を開く。

※使用している給湯器の種類によって異なる場合がありますので、取り扱い説明書をご確認ください。

ガス給湯器の給水・給湯配管に、保温材などの凍結を防止する措置が取られていない場合、風が強い日などでは気温が氷点下にならなくても、配管内が凍結してお湯が出なくなるおそれがあります。保温材で巻くなど凍結防止の対策が必要です。

もし給湯器が凍結してしまったら…

給湯器からお湯も水も出なくなった場合には、給湯器の凍結の可能性があります。この場合は、

- 給湯器のリモコンをOFFにしてください。※給湯器のコンセントは抜かないでください。
- 気温の上昇によって自然に解凍するまでお待ちください。
- 給湯栓から水が出るようになったら、給湯器や配管から水漏れがないかを確認のうえ、ご使用ください。



給湯器が凍結しても無理に解凍させようとせず、自然に溶けるのを待ってください。

給湯器に熱湯をかけるなどすると、急激な温度変化によって配管が破裂してしまう恐れがありますので、絶対に行わないでください。

※ 津山ガスからの重要なお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響や、世界的な半導体の需給逼迫の影響により、給湯器の入荷が遅延している状況です。電気のブレーカーを落とさないようにお願いします。通電により器具本体の凍結防止になります。オーナー様、不動産業者の方もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



暮らしにやさしいエネルギー

津山ガス

TEL : 0868-22-7211